

**学校名** 越谷市立平方小学校  
**所在地** 越谷市平方2784番地  
**電話** 048-976-1586

## 1 本校の概要

本校は昭和50年に開校し、児童数423名、学級数16（特別支援学級2を含む）の中規模校である。越谷市北部の田園地帯に位置しており、のどかな環境にある。本校は、「すすんで学ぶ子・たすけ合う子・けんこうな子」の学校教育目標の下、児童の心がけの言葉として「認め合い・励まし合い・磨き合い」の「三愛」を掲げている。

## 2 本校の実践

### (1) 実践の視点

読書に親しむ態度や読書週間に係る取組

### (2) 実践の概要

読書に親しむ態度や読書週間に係る取組について、児童に対する実践や担任との連携についての実践を記述する。

#### ア 読書タイム

読書の習慣化を目的に、毎日、業前の時間10分間、“わくわく読書”を設けている。児童は、図書室で借りた本や学級文庫、家から持ってきた本を読んでいる。

#### イ 読書月間

10月を読書月間とし、高学年が低学年に読み聞かせをしたり、中学年同士で読み合ったりする異学年の縦割り読書を行ったりしている。



#### ウ めあて・読書貯金・表彰

児童全員が本をどれくらい読むか、めあてを決めている。低学年は1週間で7冊、中学年は5冊、高学年は2冊読むことを推奨している。また、高学年は読書貯金をし、読書をした冊数やページを記入している。

毎月の学年ごとのベストリーダー（貸出数1位）や学期ごとの貸し出し冊数3位までの児童には三愛賞という校長賞を授与している。

#### エ 図書ゴールドカード

本校では図書の貸出は1度に1人3冊まで行っているが、貸出数の多かった児童に対しては特別な貸出用のカードを発行して5冊まで借りることができるようにし、さらに読書に親しめるようにしている。

#### オ 読書郵便

児童それぞれが、お勧めの図書を紹介しあう「読書郵便」を行っている。低学年は、クラス単位で担任が書き方を指導して取り組んでいる。クラスや学年内ばかりでなく、縦割り班や登校班と一緒に異学年の友達にも郵便を出して交流する姿が見られる。

#### カ 学校司書との連携

学習内容に関連した本等の読み聞かせを行っている。拡大絵本を使用しての読み聞かせを行うことで、子供たちの読書に対する意欲をさらに向上させることができた。

## 3 成果と今後の課題

### (1) 成果

低学年が休み時間に来室して、図書館で読書をする姿が多く見られる。高学年は、国語や社会、総合的な学習の時間での図書館活用が多く、学級単位での利用、貸出もある。しかし、高学年は行事が多く、休み時間の図書館利用がなかなか時間的に難しいことが課題である。

### (2) 課題

図書室の本の貸出に関しては、図書委員や学級担任の働きかけが大切である。引き続き、担任・図書館担当の働きかけの工夫を図っていきたい。

### (3) おわりに

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、家への持ち帰りはせず、校内のみでの貸出とした。長期休業中のみ、家への持ち帰りを許可にしたが、返却後は図書室で3日間以上置くことを原則とした。貸出、返却の時間をクラスごとに担任が行い、図書室での密を避けるよう対策を行った。図書室の入退室の際には、手洗いを行うことができるよう声をかけた。入退室の際の手洗いを習慣化することに課題が残る。今後もコロナウイルス感染拡大防止を行いながら児童の読書活動を行う必要がある。